

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：	マジカル Re パック 420ml
供給者の会社名称：	東京通商株式会社
住所：	埼玉県さいたま市大宮区大成町 3-327
電話番号：	048-664-3102
FAX 番号：	048-663-5081

2. 危険有害性情報

GHS 分類

・エアゾール	区分 1
・引火性液体	区分 2
・急性毒性 経口	分類できない
経皮	分類できない
吸入：気体	区分に該当しない
吸入：蒸気	分類できない
吸入：粉じん及びミスト	分類できない
・皮膚腐食性／刺激性	分類できない
・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2
・呼吸器感作性	分類できない
・皮膚感作性	分類できない
・生殖細胞変異原性	分類できない
・発がん性	区分 1 A
・生殖毒性	分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響	分類できない
・特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2 (中枢神経系、腎臓、全身毒性) 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)
・特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2 (神経系、中枢神経系、呼吸器系、肺吸入、肝臓、脾臓、血液系)
・誤えん有害性	分類できない
・水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
・水生環境有害性 長期(慢性)	区分 3
・オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



炎



健康有害性



感嘆符

注意喚起語：

危険

危険有害性情報：

極めて可燃性の高いエアゾール

高圧容器：熱すると破裂のおそれ

引火性の高い液体及び蒸気

強い眼刺激

発がんのおそれ

臓器<中枢神経系、呼吸器、全身毒性>の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

長期にわたる、または、反復暴露により臓器<神経系、中枢神経系、呼吸器系、肺吸入、肝臓、

脾臓、血液系>の障害のおそれ

長期継続的影響により水生生物に有害

<安全対策>

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

加圧容器のため、使用後も含め、穴をあけたり燃やしたりしないこと。

裸火または高温の白熱体に噴霧しないこと。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

火花を発生しない工具を使用すること。

保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

局所排気内、または全体換気のある場所で取扱い、蒸気が滞留しないようにすること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

環境への放出を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

<応急措置>

火災の場合には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を使用すること。

飲み込んだ場合は、吐かせずに、直ちに医師の診断を受けること。

眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて

容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。

衣類にかかった場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。

皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。

暴露または暴露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けること。

吸入し呼吸が困難な場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

<保管>

子供の手の届かない所に施錠して保管すること。

涼しく換気の良い場所で保管すること。

直射日光の当たる所や温度が40℃以上になる所、錆びの発生しやすい水回りや湿気の多い所、凍結する所には置かないこと。

<廃棄>

中身を使い切ってから廃棄する。

内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3.組成、成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No	含有量 (%)	PRTR 法	安衛法 No	備考
酢酸ブチル	123-86-4	5~15	非該当	181	
酢酸エチル	141-78-6	0.1~3	非該当	177	
メチルエチルケトン	78-93-3	1~5	非該当	570	
イソプロピルアルコール	67-63-0	0.1~3	非該当	494	
N-ブタノール	71-36-3	1未満	非該当	477	
トリメチルベンゼン (混合物)	25551-13-7	0.1~3	非該当	404	第1種 (342)
低沸点芳香族ナフサ	64742-95-6	0.1~3	非該当	330	
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	95-63-6	1.1	第1種 (296)	404	第1種 (342)
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	108-67-8	0.3	第1種 (297)	404	第1種 (342)
3-メチル3-メトキシブタノール	56539-66-3	0.1~3	非該当	477	
二酸化ケイ素	7631-86-9	1未満	非該当	312	
二酸化チタン	13463-67-7	1未満	非該当	191	
カーボンブラック	1333-86-4	1未満	非該当	130	
クメン	98-82-8	0.1未満	第1種 (83)	138	第1種 (106)
メタクリル酸メチル	80-62-6	0.1未満	第1種 (420)	557	第1種 (469)

ジメチルエーテル	115-10-6	70~75	非該当	非該当	可燃性ガス
----------	----------	-------	-----	-----	-------

PRTR 法 No. : 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法)

対象化学物質の政令番号

安衛法 No. : 労働安全衛生法 (安衛法) 第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号

(注) 備考の情報は、2023 年 4 月 1 日改正政令施行後の PRTR 法の情報です。PRTR 届出のための排出・移動量の把握は 2023 年 4 月からの開始であり、2022 年度分までの届出は政令改正前の第一種指定化学物質に基づき行う必要があります。

4. 応急措置

吸入した場合

- ・蒸気、ガスなどを吸い込んだ場合には、直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静にする。呼吸が不規則か止まっている場合には、人工呼吸を行い、嘔吐物は飲み込ませないようにする。必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

- ・汚染された衣服は、素早く脱ぐ。
- ・大量の水および石鹸又は皮膚用洗剤を使用して十分に洗い落とすこと。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、直ちに医師の診断を受けること。

目に入った場合

- ・直ちに大量の清浄な流水で、15 分以上洗浄する。瞼の裏まで完全に洗うこと。
- ・コンタクトレンズを着用し容易にとれる場合は、コンタクトレンズをはずし、更に洗浄を続ける。
- ・できるだけ早く医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・揮発性液体なので、吐き出させるとかえって肺への吸引等の危険が増す。
- ・直ちに医療措置を受ける手配をする。水でよく口の中を洗わせてもよい。
- ・但し、意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

- ・水 [×]、炭酸ガス [○]、泡 [○]、粉末 [○]、乾燥砂 [○]

消火方法

- ・可燃性のあるものを周囲から速やかに取り除くこと。
- ・消火作業は、指定の消火剤を使用し、可能な限り風上から行う。
- ・火災の現場にエアゾール製品があると爆発する恐れがあるので、消火活動には距離を十分にとること。
- ・水を消火に用いてはならない。
- ・高温にさらされる製品容器には水をかけて冷却する。

消火を行う者の保護

- ・適切な保護具(耐熱着衣、有機ガス用防毒マスク、手袋等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

- ・作業の際には適切な保護具 (保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等) を着用する。
- ・付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除き、換気をよくする。
- ・衝撃、静電気にて火花が発生しないような、材質の用具を用いて回収する。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
- ・付着物、廃棄物等は関係法規に基づいて処置をすること。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境へ流出しないように注意する。

除去方法

- ・回収後の少量の残留分は、土砂 (おがくず、土、砂、ウエス等) で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
- ・少量の場合、おがくず、ウエス、砂等を用いて吸着させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

- ・温度が40℃以上の所や火気のある所では取り扱わないこと。
- ・長時間噴射させないこと。
- ・周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
- ・容器は衝撃や落下又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。
- ・容器は使用の都度キャップをかぶせること。

局所排気・全体排気

- ・局所排気内、または全体換気のある場所で取扱い、蒸気が滞留しないようにする。

安全取扱い注意事項

- ・保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。

適切な保管条件

- ・直射日光の当たる所や温度が40℃以上になる所に保管しないこと。
- ・水分や湿気の多い所に保管すると容器を腐食させて爆発のおそれがあるので注意すること。
- ・通気の良い場所に保管すること。
- ・火気、熱源から遠ざけて保管すること。
- ・子どもの手の届かない所に、施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・取扱設備は防爆型を使用する。
- ・排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
- ・取扱場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれられないような設備とする。
- ・局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備とする。
- ・タンク内部の密閉場所で作業する場合には密閉場所、特に底部まで充分に排気出来る装置を取り付けること。

保護具

- ・呼吸器用の保護具： 防毒マスク（有機ガス用）を使用する。密閉された場所では、送気マスクを着用する。
- ・眼の保護具： 保護眼鏡を着用する。
- ・皮膚の保護具： 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- ・その他： 導電性安全靴を着用する。

成分名	管理濃度	日本産業衛生学会	許容濃度 ACGIH (TLV)
酢酸ブチル	150ppm	100ppm	150ppm
酢酸エチル	200ppm	200ppm	400ppm
メチルエチルケトン	200ppm	200ppm	200ppm
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm	200ppm
N-ブタノール	25ppm	50ppm	20ppm
トリメチルベンゼン（混合物）	データなし	25ppm	25ppm
低沸点芳香族ナフサ	データなし	3mg/m ³	データなし
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	データなし	25ppm	25ppm
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	データなし	25ppm	25ppm
3-メチル3-メトキシブタノール	データなし	データなし	データなし
二酸化ケイ素	データなし	データなし	0.1mg/m ³
二酸化チタン	データなし	0.3mg/m ³	10mg/m ³
カーボンブラック	2.9*mg/m ³	1**mg/m ³	3.5mg/m ³
クメン	データなし	10ppm	50ppm
メタクリル酸メチル	データなし	2ppm	50mg/m ³
ジメチルエーテル	規定なし	規定なし	規定なし

*粉じん管理濃度

**吸入性粉じん

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

状態	液体： [○] (エアゾール包装で容器内部は、液体状態) 気体： [○] (解放時) 固体：固体状 []、粉末状 []、ペースト状 []		
色	黒色		
臭い	溶剤臭		
pH	該当しない		
沸点	原液 データなし	ガス	データなし
沸点範囲	原液 77~174°C	ガス	-24°C
融点	原液 データなし	ガス	-141.5°C
引火点	原液 3.9°C	ガス	-41°C
発火点	原液 255°C	ガス	350°C
爆発範囲	(下限) (上限)		
	原液 0.9 ~ 44.6 vol%		
	ガス 3.4 ~ 27.0 vol%		
蒸気圧	原液 12000Pa (20°C)	ガス	507Kpa (21°C)
蒸気密度	原液 データなし	ガス	1.59 (空気=1)
密度 (比重)	原液 0.97 (代表値)	ガス	0.66
溶解性	原液 データなし	ガス	データなし
オクタノール/水分配係数	原液 データなし	ガス	0.2
分解温度	原液 データなし	ガス	データなし
その他のデータ	原液 データなし	ガス	データなし

10.安定性及び反応性

安定性

- ・通常の条件では安定。

反応性

- ・強酸化剤と接触すると激しく反応する。

危険有害な分解生成物

- ・不完全燃焼により、CO・NOX等が考えられる。

その他の反応性情報

- ・常用温度 (20°C) では缶内圧は、約 0.52MPa ではあるが、40°C以上になると爆発のおそれがある。

11.有害性情報

物質名	急性毒性 (LD50、LC50 等)				
	経口	経皮	吸入 (気体)	吸入 (蒸気)	吸入 (粉じん・ミスト)
酢酸ブチル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分 4 (14,620ppm)	分類できない
メチルエチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分 4 (11,700ppm)	分類できない
イソプロピルアルコール	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
N-ブタノール	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
トリメチルベンゼン (混合物)	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
低沸点芳香族ナフサ	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない
3-メチル3-メトキシブタノール	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない
二酸化ケイ素	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
二酸化チタン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
クメン	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分 3 2,000ppm	区分に該当しない

メタクリル酸メチル	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分4 (7,093ppm)	分類できない
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない

物質名	皮膚腐食/刺激性	眼損傷/刺激	呼吸器感作性	皮膚感作性	生殖細胞変異原性
酢酸ブチル	区分に該当しない	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
メチルエチルケトン	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	分類できない
イソプロピルアルコール	区分に該当しない	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
N-ブタノール	区分2	区分2A	分類できない	分類できない	分類できない
トリメチルベンゼン (混合物)	区分2	区分2B	分類できない	分類できない	分類できない
低沸点芳香族ナフサ	区分2	区分2	分類できない	区分に該当しない	分類できない
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分に該当しない
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	区分2	区分2B	分類できない	分類できない	区分に該当しない
3-メチル3-メトキシブタノール	区分に該当しない	区分2A	分類できない	区分に該当しない	分類できない
二酸化ケイ素	区分に該当しない	区分2	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化チタン	区分に該当しない	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない	分類できない	分類できない
クメン	区分に該当しない	区分2B	分類できない	区分に該当しない	区分に該当しない
メタクリル酸メチル	区分2	区分2	区分1	区分1	分類できない
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない

物質名	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器 (単回)
酢酸ブチル	分類できない	分類できない	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
酢酸エチル	分類できない	分類できない	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
メチルエチルケトン	分類できない	分類できない	区分2 (腎臓)、区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
イソプロピルアルコール	分類できない	区分2	区分1 (中枢神経、全身毒性)、区分3 (気道刺激性)
N-ブタノール	分類できない	分類できない	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
トリメチルベンゼン (混合物)	分類できない	分類できない	区分3 (気道刺激、麻酔作用)
低沸点芳香族ナフサ	分類できない	区分に該当しない	分類できない
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	分類できない	分類できない	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
3-メチル3-メトキシブタノール	分類できない	区分に該当しない	分類できない
二酸化ケイ素	区分1A	分類できない	区分3 (気道刺激性)
二酸化チタン	分類できない	分類できない	分類できない
カーボンブラック	区分2	分類できない	分類できない
クメン	区分2	分類できない	区分1 (中枢神経系、肝臓、腎臓) 区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
メタクリル酸メチル	区分外	分類できない	区分1 (呼吸器)、区分3 (麻酔作用)
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない	区分3 (麻酔作用)

物質名	特定標的臓器毒性 (反復)	誤えん有害性
酢酸ブチル	分類できない	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	分類できない
メチルエチルケトン	区分1 (神経系)	分類できない
イソプロピルアルコール	区分1 (血液系)、区分2 (呼吸器、肝臓、脾臓)	分類できない
N-ブタノール	区分1 (中枢神経系、聴覚器)	分類できない
トリメチルベンゼン (混合物)	区分1 (中枢神経系、呼吸器)	区分1
低沸点芳香族ナフサ	分類できない	区分1
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	区分2 (中枢神経系、肺)	区分1
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	区分1 (中枢神経系、呼吸器)	区分1

3-メチル3-メトキシブタノール	分類できない	分類できない
二酸化ケイ素	区分1 (呼吸器、免疫系、腎臓)	分類できない
二酸化チタン	区分1 (呼吸器)	分類できない
カーボンブラック	区分1 (呼吸器)	分類できない
クメン	分類できない	区分1
メタクリル酸メチル	区分1 (神経系、呼吸器)	分類できない
ジメチルエーテル	分類できない	分類できない

12.環境影響情報

[成分の水性環境有害性情報]

物質名	水生環境有害性 短期 (急性)	水生環境有害性 長期 (慢性)	オゾン層への有害性
酢酸ブチル	区分3	区分に該当しない	分類できない
酢酸エチル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
メチルエチルケトン	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
イソプロピルアルコール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
N-ブタノール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
トリメチルベンゼン (混合物)	区分2	区分2	分類できない
低沸点芳香族ナフサ	区分2	区分2	分類できない
1, 2, 4-トリメチルベンゼン	区分2	区分2	分類できない
1, 3, 5-トリメチルベンゼン	区分2	区分2	分類できない
3-メチル3-メトキシブタノール	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない
二酸化ケイ素	分類できない	分類できない	分類できない
二酸化チタン	区分に該当しない	区分4	分類できない
カーボンブラック	区分に該当しない	分類できない	分類できない
クメン	区分2	区分2	分類できない
メタクリル酸メチル	区分3	区分に該当しない	分類できない
ジメチルエーテル	区分に該当しない	区分に該当しない	分類できない

13.廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・中身を使い切ってから廃棄する。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝にそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

汚染容器・包装

- ・内容物や容器を廃棄する際は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

14.輸送上の注意

共通

- ・取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
- ・運搬に際しては、容器を40°C以下に保ち、転倒、落下並びに損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

陸上輸送

- ・消防法、労働安全衛生法、ほかの法令の輸送について定めるところに従うこと。

海上輸送

- ・船舶安全法に定めるところに従う。

航空輸送

- ・航空法に定めるところに従う。

国際規制

- ・国連番号：1950 国連分類：クラス2.1 (高圧ガス) 指針番号：126

15.適用法令

高圧ガス保安法：

エアゾールの為、非該当

消防法：	第4類 第一石油類（非水溶性）
毒物及び劇物取締法：	混合物の為、非該当
労働安全衛生法：	危険物（引火性の物、可燃性ガス） 通知対象物質含有 有機溶剤中毒予防規則（第二種有機溶剤含有）
化学物質排出把握管理促進法：	第一種指定化学物質含有
船舶安全法：	危険物（高圧ガス）
航空法：	危険物（高圧ガス）
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令	

16.その他の情報（引用文献）

- ・化学物質等安全データシート（MSDS）
- ・GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z 7252
- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS） JIS Z 7253
- ・産業中毒便覧（医歯薬出版株式会社）
- ・14705の化学薬品（化学工業日報社）
- ・改訂第2版 労働安全衛生法 MSDS対象物質全データ（化学工業日報社）
- ・改訂第2版 緊急時応急措置指針（日本規格協会）
- ・危険物船舶運送及び貯蔵規則（海文堂）
- ・GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）
- ・GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック改訂第2版（日本塗料工業会）
- ・GHS対応版ラベル・MSDS作成マニュアル（日本オートケミカル工業会）
- ・溶剤ポケットブック（オーム社）

記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、情報の正確さ、安全性を保証するものではありませんので、新しい情報によって改訂されることがあります。

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取扱う事業者提供されるものです。取扱う事業者はこれを参考として、自らの責任において個々の取扱いなどの実態に応じた処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは安全の保証書ではありません。